

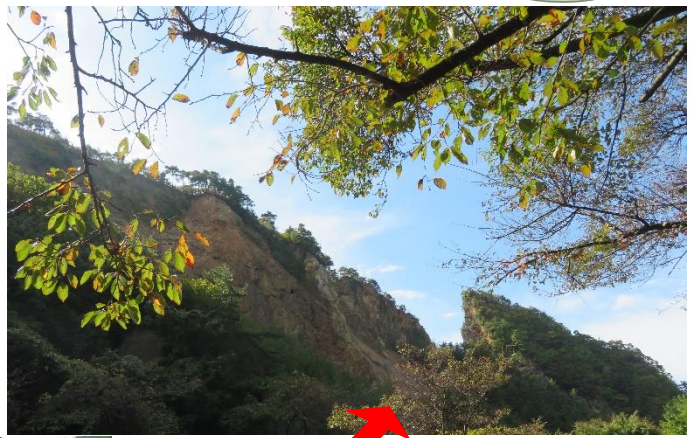
# 佐渡金山・佐渡博物館見学の様子

伝統文化の陶芸体験に続き、佐渡地域の産業と生活の成り立ちを学ぶため、佐渡金山の世界遺産ツアーと佐渡博物館の見学に行ってきました。

世界遺産ツアーでは、バスにゴールデン佐渡のガイドさんが添乗し、金銀生産に関連する一連の産業遺産（採掘、破碎、選鉱、製錬、港湾）の説明をしてくださいました。また、当時の風情が色濃く残る街並みを、途中バスを下車し、歩いて見学してきました。



佐渡金山のシンボル  
道遊の割戸の裏側からスタートです。



人形が動いていて、江戸時代の当時の坑道の様子を再現したコースではありません!!



佐渡のラピュタと話題の  
「北沢浮遊選鉱場跡」



トロッキの線路がここに  
あります！

金山と奉行所を結ぶメインストリートの京町通り ✨

説明を聞きながら、暖かな色味を帯びた建物を歩いて見学してきました。



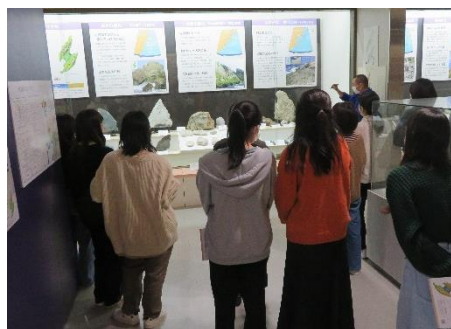
2000年に復元した奉行所

「時鐘楼」は今も朝夕に時を告げます。



江戸時代より港として使用された大間港。

佐渡博物館では、佐渡の成り立ちを示す岩石や化石、縄文時代から古代へとつながる考古学上の遺跡を見学してきました。さらには歴史上の多くの貴人、文化人が流され独自の文化が育ったこと、そして国の財政の源の一つとなった金銀山の開発など、学芸員から説明していただきました。



佐渡の歴史を、文化・自然に触れながら学ぶことができました。😊